**タブレットを活用した新しい学び　授業実践事例**

|  |
| --- |
| Google Chromeの活用 |

○授業の習熟度アンケートの実施

　GoogleFormで実施した。自動集計されるため、生徒の習熟度をすぐに把握することができる。

○Google Jamboardを活用した道徳の授業での意見の共有

　Google Jamboardを利用し、短時間で全員の考えを共有した。

　学級全体で発表することが苦手な生徒も意見を出すことができる。

○国語の授業でのスライドの活用

　提示資料を作成し、班で共有した。発表の際は資料をテレビに映し、発表を行った。

　グラフを作成したり、資料を引用することで、説得力のあるプレゼンの作成ができる。

|  |
| --- |
| ミライシードの活用 |

○評価問題としてのドリルパークの活用

　授業の評価問題をドリルパークで実施することで，習熟度を授業直後に把握できる。

○オクリンクで自作問題の共有

　数学の問題を作成する課題において、自作問題の共有をした。

　他者が作成した問題を自分で選択して解いた。

○オクリンクでスケッチの共有、特徴のまとめ

　理科の授業で、細胞のスケッチを行い、写真をとって共有した。写真を保存しておけるので、いつでも見返すことができる。また、細胞の特徴をまとめ、提出させた。まとめたことを他の生徒も見ることができ、多くの特徴を共有することができる。

|  |
| --- |
| その他の活用 |

○数学デジタルツールGeoGebraの活用

　数学の授業において関数のグラフや動点の問題など、視覚的効果の高い課題に活用した。

　生徒が自らで動かすことができるため、学習意欲の向上と学習内容の理解の助けになる。

○フラッシュ英単語などの活用

　授業の最初にテレビに英単語を映し、単語の意味の確認を行った。英単語の確認を短時間で行うことができる。